

広州 2010 アジアパラ競技大会の結果等について

- 1 大会名称 広州 2010 アジアパラ競技大会 「Guangzhou 2010 Asian Para Games」
- 2 大会期間 平成 22 年 12 月 12 日 (日) 開会式～19 日 (日) 閉会式 (8 日間)
- 3 開催地 中国・広州市
- 4 主催 アジアパラリンピック委員会 (APC)
広州 2010 アジアパラ競技大会組織委員会 (GAPGOC)、中国・広州市
- 5 参加国・地域 41 カ国 (前回フェスピック KL 大会: 46 カ国参加)
- 6 参加者数 3,798 名 (選手 2,512 名 役員 1,286 名)
- 7 日本選手団 359 名 (選手 223 名、役員 136 名)
- 8 実施競技 19 競技
- 9 日本選手団競技別メダル数

No.	競技名	計	金	銀	銅
1	アーチェリー	2	2		
2	陸上競技	19	5	5	9
3	バドミントン	3	1		2
4	ボッチャ				
5	自転車	5	2	3	
6	5人制サッカー				
7	7人制サッカー	1			1
8	ゴールボール男子				
9	ゴールボール女子	1		1	
10	柔道	9	3	3	3
11	パワーリフティング				
12	ボート	2		2	
13	射撃	1			1
14	シッティングバレーボール男子				
15	シッティングバレーボール女子	1		1	
16	水泳	51	15	20	16
17	テンピンボウリング	2		2	
18	卓球				
19	車いすフェンシング				
20	車椅子バスケットボール男子	1	1		
21	車椅子バスケットボール女子	1	1		
22	車いすテニス	4	2	2	
	合計	103	32	39	32

10 大会特記事項

- 1) フェスピック競技大会の歴史を引き継ぎ、第 10 回の地域競技大会として開催。
(アジアパラリンピック委員会としては初の開催)
- 2) 新たな実施競技としてパラリンピックで実施されている視覚障害者の 5 人制サッカーとボートが採用された。
- 3) 平成 22 年 11 月 12 日～27 日に同地で開催された第 16 回アジア競技大会と同じ会場を原則的に使用。
選手村も、新設されるアジア大会選手村を使用した。

11 大会エンブレムと大会マスコット

大会エンブレム

大会マスコット
「Fun Fun」